

E-FV

2023/コンセプトモデル

2003年の東京モーターショーでのEC-01以降、日常の通勤からオフロードバイクやスポーツモデルまで、幅広い領域の可能性を探ってきた。

E-FVは、2023年のジャパンモビリティショーで発表された、走行可能なコンセプトモデル。電動モビリティの楽しさの探求を目的に、若手エンジニア有志が楽しみながら開発したファミリーで楽しめる電動ミニバイクを目指した。電動トライアルバイク「TY-E」のパワーユニットを搭載し、シフトチェンジを要さず、走りに集中できるファンビークルを目指した。EVならではの静粛性に加え、サウンドデバイス「アクティブ・サウンド・コントロール」を搭載することで、起動音や終了音、エンジン車のエキゾーストサウンド等の音を楽しむことができる。

2025年のジャパンモビリティショーでは、モデルとして3世代目となる人と乗り物の関係性の未来を提案するMOTOROiD:Λ、異次元の人機一体を体感できるフルオープンスタイルの3輪TRICERA proto等、EVの可能性をヤマハ発動機独自の視点で研究してきた数多くの成果が世界初公開となる。

